

取扱説明書

double CharacterRecognition(char* TargetImage, char* TemplateFileGroup[])	文字マッチング、BMP 画像をサポートし、 戻り値はターゲット画像がマッチング したテンプレートファイルのシーケ ンス番号であり、戻り値が 2 であれば画像 とシーケンス番号が 2（シーケンス番号 がゼロから始まる）のテンプレートのマ ッチングを説明する。 リ フ ァ レ シ ス : TemplateFileGroup[]={ "0.txt", "1.txt", "2.txt", "3.txt", "4.txt", "5.txt", "6.txt", "7.txt", "8.txt", "9.txt" };
double CharacterRecognition1(char* TargetImage, char* TemplateFileGroup[])	文字マッチング、BMP 画像をサポートし、 戻り値はターゲット画像がマッチング したテンプレートファイルのシーケ ンス番号であり、戻り値が 2 であれば画像 とシーケンス番号が 2（シーケンス番号 がゼロから始まる）のテンプレートのマ ッチングを説明する。 リ フ ァ レ シ ス : TemplateFileGroup[]={ "0.txt", "1.txt", "2.txt", "3.txt", "4.txt", "5.txt", "6.txt", "7.txt", "8.txt", "9.txt" };
void CodeEncoding(std::string input, char* output, int width, int height, int margin, int eccLevel, int stride_bytes, int comp, int a)	2 次元コード符号化，バーコードコーデ ィング。input は符号化する文字列であ り、output は生成される 2 次元コード画 像ファイル名である。 margin: バーコード周辺のマージン ecc: 誤り訂正レベル，[0-8] a=1: AZTEC a=2: CODABAR a=3: CODE_39 a=4: CODE_93 a=5: CODE_128 a=6: DATA_MATRIX a=7: EAN_8 a=8: EAN_13 a=9: ITF a=10: MAXICODE a=11: PDF_417 a=12: QR_CODE a=13: RSS_14

	a=14: RSS_EXPANDED a=15: UPC_A a=16: UPC_E a=17: UPC_EAN_EXTENSION リファレンス: margin=10, eccLevel=-1, stride_bytes=0, comp=1。
std::string CodeDecoding(char* input, int req_comp, int a)	2次元コード復号, バーコード復号。 input は入力された2次元コード画像ファイル名であり、復号結果を返す。 a=1: Lum a=2: RGB a=3: BGR a=4: RGBX a=5: XRGB a=6: BGRX a=7: XBGR リファレンス: req_comp=4, a=4。